

# 結合





## 目次

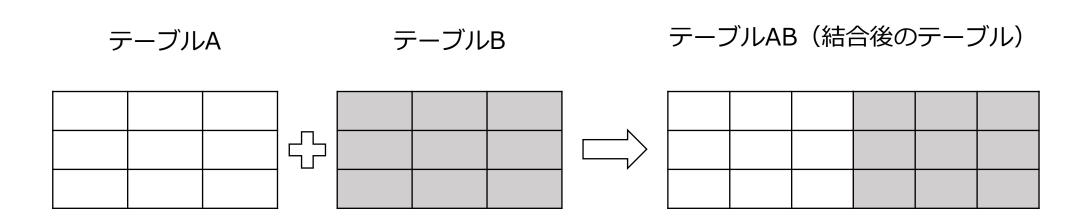
- 結合とは
- 内部結合
- 外部結合
- 3つ以上のテーブルの結合
- 同じテーブル同士の結合





## 結合とは

複数のテーブルのレコードを組み合わせて、1つの仮想的なテーブルを一時的に作成すること。







# (例)社員テーブルと部署テーブルの結合

#### 社員テーブル

社員ID	氏名	部署ID
1	田中太郎	D01
2	鈴木次郎	D01
3	渡辺花子	D02
4	佐々木良子	D03
5	佐藤和也	D04
6	中村隆	D04
7	鈴木純一	D03

#### 部署テーブル

部署ID	部署名
D01	開発部
D02	教育部
D03	営業部
D04	総務部







# (例)shop\_itemとitemテーブルの結合(続き)

#### 結合後のテーブル

社員ID	氏名	部署ID	部署ID	部署名
1	田中太郎	D01	D01	開発部
2	鈴木次郎	D01	D01	開発部
3	渡辺花子	D02	D02	教育部
4	佐々木良子	D03	D03	営業部
5	佐藤和也	D04	D04	総務部
6	中村隆	D04	D04	総務部
7	鈴木純一	D03	D03	営業部





# <u>itemテーブルとshop\_itemテーブルを作成しましょう</u>







#### 結合キー

- 両方のテーブルに存在する商品IDを利用して結合を行う。
- 結合に利用する列のことを「結合キー」と呼ぶ。

#### 結合キー

	item	shop_item
商品ID	0	0
商品名	0	
商品分類	0	
販売単価	0	
仕入単価	0	
登録日	0	
店舗ID		0
店舗名		0
数量		0



## 内部結合と外部結合

結合には内部結合と外部結合の2種類の方法がある。

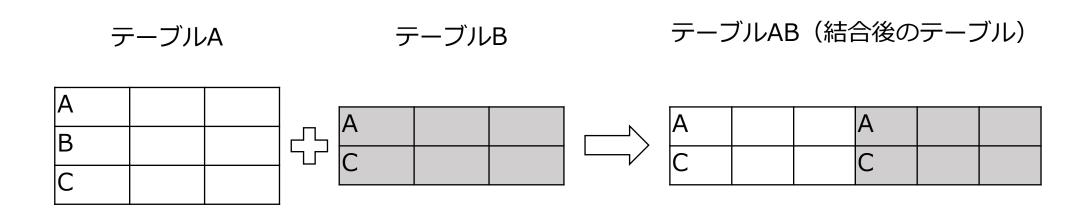
結合方法	特徴
内部結合	両方のテーブルに存在する行を取得する
外部結合	基準となっているテーブルの全ての行を取得する





# 内部結合

両方のテーブルに存在する行を取得する結合方法。





#### 内部結合:記述の仕方

結合するテーブル間に「INNER JOIN」と記述する。 ON句には、結合キーを指定する。

SELECT <列名> FROM <テーブル名1> INNER JOIN <テーブル名2> ON <テーブル名1>.<結合キー> = <テーブル名2>.<結合キー>;





#### 内部結合したSELECT文を実行してみましょう





# 補足: テーブルの別名

テーブル名の後ろに任意の文字列を記載し、テーブルに別名をつけられる。

SELECT <列名>FROM <テーブル名1> <別名1> INNER JOIN <テーブル名2> <別名2>ON <別名1>.<結合キー> = <別名2>.<結合キー>;





## 補足: テーブルの別名

別名は必須ではないが、以下のメリットがあるため、つけることを推奨。

- 他の句でテーブル名を記述する手間が省ける
- SQLの可読性が上がる

```
SELECT
si.shop_id,si.shop_name,si.item_id,
i.item_name,i.sel_price,si.quantity
FROM shop_item si INNER JOIN item i
C別名を指定
ON si.item_id = i.item_id;
```





## 外部結合

基準となっているテーブルの全レコードを取得する結合方法。

テーブルA(基準)

テーブルB

テーブルAB (結合後のテーブル)

А	
В	
С	





Α		А	
В		NULL	
С		С	





### 外部結合:記述の仕方

結合するテーブル間に「LEFT OUTER JOIN」、または「RIGHT OUTER JOIN」と記述する。

SELECT <列名>FROM <テーブル名1> LEFT[RIGHT] OUTER JOIN <テーブル名2>ON <テーブル名1>.<結合キー> = <テーブル名2>.<結合キー>;





## 左外部結合(LEFT OUTER JOIN)

左側に書いたテーブルが基準となる。

SELECT <列名>

FROM <テーブルA> A LEFT OUTER JOIN <テーブルB> B

ON A.<結合キー> = B.<結合キー>;

テーブルA(基準)

テーブルB

テーブルAB(結合後のテーブル)

А		А		А		Α
В		С		В		NUI
С				С		С





## 右外部結合(RIGHT OUTER JOIN)

右側に書いたテーブルが基準となる。

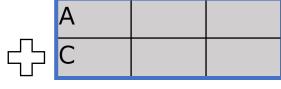
SELECT <列名>
FROM <テーブルA> A RIGHT OUTER JOIN <テーブルB> B
ON A.<結合キー> = B.<結合キー>;

テーブルA

テーブルB (基準)

テーブルAB(結合後のテーブル)

А		
В		
С		





А		А	
С		С	





### 外部結合したSELECT文を実行してみましょう







# 外部結合したSELECT文のポイント①

左外部結合(LEFT OUTER JOIN)のため、 左側に書いてあるitemテーブルが基準となる。

```
SELECT si.shop_id,si.shop_name,si.item_id,
i.item_name,i.sel_price,si.quantity
FROM item i LEFT OUTER JOIN shop_item si
ON i.item_id = si.item_id;
```





# 外部結合したSELECT文のポイント②

基準であるitemテーブルのレコードはすべて出力される

item(基準)

shop\_item

結合後のテーブル

0001	シャツ
0002	ホッチキス
0003	セーター
0004	包丁
0005	フライパン
0006	フォーク
0007	スプーン
8000	ボールペン

東京	0001	30
東京	0002	50
仙台	0002	30
仙台	0006	10
大阪	0003	20
大阪	0007	70
福岡	0001	50

0001	シャツ	0001	東京
0002	ホッチキス	0002	東京
0002	ホッチキス	0002	仙台
0006	フォーク	0006	仙台
0003	セーター	0003	大阪
0007	スプーン	0007	大阪
0001	シャツ	0001	福岡
0004	包丁	NULL	NULL
0005	フライパン	NULL	NULL
0008	ボールペン	NULL	NULL





## 3つ以上のテーブルの結合

テーブルは3つ以上であっても結合できる。 FROM句の後ろにJOIN句とON句のセットを続けて記述する。

SELECT <列名>
FROM <テーブル名1>
INNER JOIN <テーブル名2>
ON <テーブル名1>. <結合キー1> = <テーブル名2>. <結合キー1>
INNER JOIN<テーブル名3>
ON <テーブル名2>. <結合キー2> = <テーブル名3>. <結合キー2>;





# 3つ以上のテーブルを内部結合してみましょう

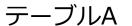






# 同じテーブル同士の結合

1つのテーブルを2つ以上のテーブルに見立てて結合することもできる。



テーブルA

テーブルAA(結合後のテーブル)

А	С	
В	С	
С	С	





Α	(	С	С	
В		С	С	
С		С	С	



## 同じテーブル同士の結合:利用例

主キーである社員IDを他のカラム(上司社員ID) にも使用している。 このままでは「誰が上司なのか」がわかりにくい。

社員テーブル

社員ID	社員名	上司社員ID
0001	田中	0002
0002	佐藤	0004
0003	鈴木	0002
0004	吉田	0005
0005	安藤	
0006	菊池	0005





# 同じテーブル同士の結合:利用例(続き)

同じテーブルを結合すれば、上司の名前を表示できる。

社員ID	社員名	上司社員 ID	社員ID	社員名
0001	田中	0002	0002	佐藤
0002	佐藤	0004	0004	吉田
0003	鈴木	0002	0002	佐藤
0004	吉田	0005	0005	安藤
0005	安藤			
0006	菊池	0005	0005	安藤

社員テーブルに社員 テーブルを結合